

日本ユング心理学会 第14回大会

プレングレス一般公開のご案内

身体 of 精神病理学

——現代の家郷性をめぐって

基調講演

野間 俊一 (のまこころクリニック/京都大学)

指定討論者

河合 俊雄 (京都こころ研究所/京都大学名誉教授)

林 公輔 (慶應義塾大学/信濃追分クリニック)

日本ユング心理学会第14回大会のプレングレスを一般公開プログラムとして開催いたします。多くの方に広くご参加いただけますよう謹んでご案内申し上げます。

本大会のプレングレスでは、のまこころクリニック/京都大学大学院教育学研究科の野間俊一先生に「身体 of 精神病理学——現代の家郷性をめぐって」というタイトルでご講演いただきます。著書『身体 of 哲学——精神医学からのアプローチ』や『身体 of 時間——〈今〉を生きるための精神病理学』を手にとったことのある会員は多いのではないのでしょうか。野間先生は、精神医学・精神病理学において人間学的理解や現象学の視点を取り入れた研究者・臨床家として著名であり、「解離」や「摂食障害」など、とりわけ青年期に多くみられる精神疾患について数多くの論考を発表されています。

「家郷性(Heimat)」とは「情緒的交流、家庭、親、来歴、祖先、故郷のように、自己の起源に関係し郷愁を伴った特有の親しみを感じさせる対象に本質的に付随している性質であり、それを感じることで自分の存在が無条件かつ全面的に承認されているという感覚を抱く」(野間, 2015) のものであるとのこと。

このような「家郷性」の現代における諸相について考えを深めることは、今日におけるユング心理学、そしてユング派心理療法の在り方を省察するためには、たいへん重要であると言えるでしょう。

◆ 講演者紹介: 野間 俊一 (のま・しゅんいち)

「のまこころクリニック」院長、京都大学大学院教育学研究科特任教授。

京都大学医学部卒業後、同大学医学部附属病院精神科神経科助教や大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)講師、医学部臨床教授を務め、2020年より現職。

専門は摂食障害、解離症。著書に『エスとの対話——心身の無意識と癒し』(新曜社)、『身体 of 時間——〈今〉を生きるための精神病理学』(筑摩選書)、『解離する生命』(みすず書房)のほか、共著『いのちと病い——臨床哲学』に寄せて(創元社)、『精神科シンボルトロジー——症状学入門』(医学書院)ほか。

日時 2026年6月6日(土) 13:30~16:30 [受付開始12:30]

会場 オンライン
AP大阪淀屋橋 (大阪市中央区北浜 3-2-25)

定員 オンライン参加
200名 先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます

参加費 2,000円 対象 どなたでもご参加いただけます

●臨床心理士ポイント
同日午前中のワークショップと当プレングレスへの参加で、ポイントの取得が可能です。詳細は当学会ホームページ (<http://www.jajp-jung.info/conference.html>) にてご確認ください。

申込方法

1. 当学会ホームページ (<http://www.jajp-jung.info/conference.html>) 及び、右記から参加申し込みフォームに必要事項をご記入の上お申し込みください。申し込みが完了しましたら自動返信メールが送信されます。(パソコン・スマートフォン対応)



2. 自動返信メールをご確認のうえ、下記の口座にプレングレス参加費のご納入をお願いします。

郵便振替口座: 00980-2-195483
加入者名: 日本ユング心理学会年次大会

※当日参加受付はいたしませんので、事前のお申込みをお願いします。

JAJP

日本ユング心理学会 (JAJP) 事務局 office@jajp-jung.info

